

## 平成29年度定時総会を開催／中長期的課題への対応検討着手

日本埋立浚渫協会（清水琢三会長）は5月22日、東京都内で平成29年度定時総会を開催しました。平成28年度決算と定款改定、役員選任を承認するとともに、平成29年度事業計画などを報告しました。

総会で挨拶した清水会長は「将来的に労働人口が減少する中、建設業界では、若手技術者の不足や技能労働者の高齢化が顕在化しています。担い手を確保するには、働き方改革の推進と生産性の向上が同時に求められます。長時間労働の防止と計画的な休日取得を推進し、「週休二日」の実現に取り組まなければなりません」などと述べました。



協会では平成29年度、ICT（情報通信技術）の活用などによる建設現場の生産性向上、週休2日に向けた働き方改革などに積極的に対応していきます。海上土木技術に強みを持つ専門企業集団として、公正かつ誠実な企業活動を徹底するとともに、信頼性の高い技術の普及や自然環境への配慮に取り組みます。また、労働災害の防止に一層努力し、安全・安心な職場環境づくりの活動を展開します。



本年度より中長期ビジョンの策定に着手します。当協会の会員企業が、重要なインフラである港湾・空港整備への貢献を通じて持続的に成長するとともに、将来を担う若者や女性にとって魅力のある産業として発展するための課題と解決の方向性を議論し、協会として果たすべき役割とその具体的な方策をとりまとめる予定です。